

しづ老施協

No. 25

平成21年6月発行
 静岡県老人福祉施設協議会
 〒420-0856静岡市葵区駿府町1-70
 静岡県総合社会福祉会館内
 TEL 054-653-2311 FAX 054-653-2312
 E-mail : sizurosi@vesta.ocn.ne.jp
<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

巻頭言

「安心して 最期を迎える」



静岡県老人福祉施設協議会

副会長 三重野 隆志

どこで亡くなるか

私たちの施設には、様々な人生を歩いてこられた方々が入所されています。しかし、本人が自ら心底望んで入所された方はいないと思いません。いろんな事情があり入所されるに至ったわけです。

そして、現実としてその多くの方がこの施設で一生を終えられます。言い換えるならば、私たちの施設を人生の最後の場として選んでいたことがあります。

「終わり良ければ、すべて良し」

の言葉どおりこの最後の場での生活を最良とする責務が私たちにはあります。どう死んだ（死ぬ）かは、どう生きた（生きる）かに繋がっています。人生の最期、ゴールで「良かつた。ありがとう！」と言えるならば、その方にとつて良い人生です。そう言っていただければ、最後に支えた私たちにとつても最高です。

死生観を持つ

「葉っぱのフレディ」という絵本を読んだことがありますか。楓の葉「フレディ」の一生なのですが、私たちの“いのちの旅”そのものなのだと思います。生まれ成長し、他人（社会）の役に立ち、そして死んでまた次の生命に引き継ぎます。

「死」には、「惜しまれる死」「納得される死」「安堵される死」がありますが、私は「納得される死」を迎えたいと願っています。

安心していただく

施設入所というのは、七十歳八十九歳という適応力が衰えた時に施設での集団生活を余儀なくさせられるわけです。不安、不適応を起こすこと

私たちも誰でも必ず死を迎えるます。人間に限らず生命あるものはすべて死を迎えます。生命がこの世に生まれて以来限りなく続いているDNAの受け渡しなのです。

私たち人間はどんなに長く生きても一二〇年だと言われています。この長くも短くもある人生を生まれた順に見送られるのが自然なのです。

安心していただく

施設入所というのは、七十歳八十九歳という適応力が衰えた時に施設での集団生活を余儀なくさせられるわけです。不安、不適応を起こすことでも多くの大切なものを失つていま

ます。施設に入所して新しい喜びがあるとかというとそうはないと思います。

このような心を感じることがであります。しかし、其感できる心が私たちにあるでしょうか。想いを感じようとしているでしょうか。

「百歳になつても老後に備える」

（特別養護老人ホーム
 「小鹿苑」施設長）

【介護報酬改定について】

介護老人福祉施設 高原荘 斎藤文彦

社会福祉法人が運営する介護サービス事業者は、利用者や家族はもとより、地域住民の信頼性を高めながら、「この事業所でなければ」と思われるような差別化を図ることが必要です。

今回の介護報酬改定の影響と今後の運営については、訪問介護、通所介護、居宅介護支援の介護報酬のアップが、そのまま事業所の収入増に結び付かない。職員の賃金アップに十分対応できないばかりか、区分支給限度額が引き上げられないために利用者へのサービス抑制も考えられる。

今後は経営基盤の立て直しを進め、サービスに影響する人員削減は行わず、利用者本人にとつて必要な選ばれるサービス提供をしながら人件費以外のコスト削減で対応する。そしてキャリアや介護技術を考慮した処遇改善に取り組みたい。

通所介護は、介護福祉士の配置や勤続年数などが評価され、「どれだけの事業所が要件を満たせるのか」。

通所介護では小規模ほど赤字傾向にあり、基本報酬単価が変わらない中、「加算頼み」では非常に厳しい。赤字事業所では処遇改善には回せない。

規模別事業所についても、月当たり七五一一九〇〇人・九〇〇人超の事業所に規模の設定及び評価が行われ居宅介護支援は、ケアマネジャーが四十件以上を担当する場合、全件数に遞減制を適用する現行制度を改めたことをはじめ、病院と利用者の情報共有などに着目した評価、認知症高齢者や独居高齢者に対するケアマネジメントについての加算ができる。居宅支援事業では、ケアマネジメントと事業運営の適正化、医療との連携・認知症について重点的に取り組んでいくことが必要です。

利用者に対して『質の良いサービス』についての説明が必要である。介護福祉士が増えたというのは、利用者には見えない、家族などにしつかり説明をして行くことが重要ではないでしょうか。

今回の改定は介護職員の待遇改善と言われているが、介護職員の離職にはただ給与が低いだけではないよう思う。やり甲斐のある介護は、うに思う。やり甲斐のある介護は、使用者はもちろん介護者が楽しくなければ伝わらない。かといって介護者だけが楽しんでいたならば、それも何か勘違いになってしまふ。日常生活に手助けを必要としないで暮らせることはない。

通所介護では、判断の迷いやばらつきを防ぐために、事実のみに着目し、該当する行為がなければ「自立（介助なし）」とする。ただし、それがでは判断が軽くなってしまうため、調査項目ごとの特記事項に本人の状態を詳しく書き、介護認定審査会に情報を提供する。「調査員一人の判断より、審査会で判断した方がより正確になる」と厚生労働省では説明している。

また、認知症の人と家族の会では、「日常の様子を家族がメモしておき、即答できる高齢者は確かに少ない」と伝えることが今まで以上に重要な

介護報酬改定と同時に 要介護認定も変わります

新基準では、判断の迷いやばらつきを防ぐために、事実のみに着目し、該当する行為がなければ「自立（介助なし）」とする。ただし、それがでは判断が軽くなってしまうため、調査項目ごとの特記事項に本人の状態を詳しく書き、介護認定審査会に情報を提供する。「調査員一人の判断より、審査会で判断した方がより正確になる」と厚生労働省では説明している。

になる」と話している。

厚生労働省では新しい判断基準の一部を修正することになり、修正点は、「買い物」「金銭の管理」「移乗」の三項目で、新たな基準について明確化し、混乱のないようにしたいとされている。

介護や認知症を理解し、実践できる立場として、各専門職種が連携して利用者一人ひとり、本人にとって何が必要かを見極めた支援をしていきたいものです。



施設名称の由来と想い

特別養護老人ホーム 灯光園

施設長 澤島久美子

灯光園は静岡県最南端の御前崎市にあり、二階の窓からは岬の灯台が眺られ、屋上からは靈峰富士が望遠されます。

「灯光園」の名称は、当時の鈴木御前崎町長が「一世紀以上にわたり海上を航海するものに慈愛の光を投げ続けたふる里の灯台を思い浮かべ命名した」と記念誌に残されております。

昭和五十一年の開設当初は、経済的に大変苦しく、県や近隣の町、さらには天竜厚生会のご支援をいただき、立て直しを図つたと聞き及んでおります。昭和六十一年の十周年記念誌を紐解きますと、職員の努力、地域社会の温かい支えのあつたことが記録されており、その当時のご苦労は大変なものであったことがわかります。そんな先人のおかげをもちまして、その後は順調な経営となり現在に至っております。

開設から三十年が過ぎ、建物が老

朽化したため、現在地に新施設を建設し、平成十九年二月に移転を完了しました。利用者の皆さん的生活の快適さを求めて設計し、素晴らしい建物が完成。御前崎の明るい光をふんだんに取り入れ、パブリックとプライベートにメリハリのある、素敵なお施設です。

現場で働く職員も移

転の五年前から、ユニット型施設での生活の作り方の学習に取り組みました。現在は全国老施協の「介護力向上講習会」に参加し、おむつアンダーパンの掛け声のもと、利用者のみなさんに元気になって頂くよう、水分摂取・栄養摂取・便秘の改善・運動・認知症の改善に力を入れています。また、パワーリハビリのマシン三台を導入し、介護職による運動を始めます。「水分をたくさん飲んでもらうにはどうしたらいい

どう作ろう。下剤を飲まないでいいうんちを出したいね。」などが職員の会話の中身となっていて、心強く思っています。

御前崎は明るい光が取り柄。前向きに取り組み、利用者の皆さんの笑顔が仕事の張り合いと思ってくれる職員と共にこれからも、努力したいと思っています。



福祉研究大会 開催要項

情報のネットワーク —

● 研究発表

発表題数 50題

4会場に分かれて発表

テーマ（参考）

食 事：食の喜び・経口摂取の大切さ・手作りおやつの会 …

認知症ケア：ダイバージョナル・セラピー …

リ ス ク：服薬間違い0を目指して …

ユニット：室内環境改善、ブロックケア …

ケア向上：持ち上げない介護をしよう …

地域交流・在宅：介護家族のストレスとデイ職員の役割 …

人材育成：介護福祉士の養成教育、Let'Try！現場実習 …

● 参加者

- ① 静岡県内の老人福祉施設の職員
- ② 大学・専門学校等の学生、教諭
- ③ 一般市民

● 会場案内図



第1回 静岡県高齢者

— 語ろう、拡げよう —

●主 催 静岡県老人福祉施設協議会
静岡県高齢者福祉研究大会実行委員会

●後 援 静 岡 県
静岡県社会福祉協議会
静岡県介護福祉士会
静岡県社会福祉士会
静岡県介護支援専門員連絡会

●期 日 平成21年8月4日(火) 午前10時～午後4時

●会 場 静岡県総合社会福祉会館 1、6、7 階

●日 程

	9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	14:30	16:00
1階	発表受付	参加受付	研究発表	休憩		研究発表	
6階	設営準備	就職相談施設紹介コーナー		休憩		就職相談施設紹介コーナー	
7階	設営準備				講演		

●内 容

- ・ 研究発表
- ・ 講演会
- ・ 施設、養成学校紹介コーナー
- ・ 就職相談、介護機器展示

●講 演 会

講 師 武術家 甲野 善紀 氏

演 題 呼び起こせ“日本人のチカラ”
(介護に役立つ身体操作法の実技体験あり)

●施設のユニーク行事

「喫茶コーナー」

養護老人ホーム 清水松風荘

毎週火曜日、施設内に喫茶コーナーが開店します。地域ボランティアの皆さんによっておいしい飲み物とお菓子が振る舞われます。慰問の時には地域の方も一緒になつて楽しんでいただいて大ホールが一杯になることもあります。



あおい卒園式



毎年三月に、卒園を控えた近隣の幼稚園・保育園の園児さんを招き、日頃から慰間に来ててくれた園児さんにおおい莊から感謝を込めて、馬に乗っての卒園式を開催しております。式では、交通安全教室や、ご利用者とのふれあいを思い出すきっかけとなるように、球根の植え付けや、アニマルセラピーとして、ご利用者と共にポニーとのふれあいや乗馬を行っています。



ふれあいショッピング

特別養護老人ホーム 愛華の郷

「ふれあいショッピング」は、イトヨーカドー静岡店の協力により施設内集会室に売り場を設置していただき、ご利用者はもちろん地域の方や近隣の福祉施設の皆様にお買い物を楽しんでいただく行事です。

これまで、年二～三回開催しておりますが、ご利用者が「自分自身で商品を手にとり、見て欲しいものを選ぶ」という買い物本来の楽しさに加え、施設が売り場横に「無料休憩所」を設けて新茶や甘酒、焼き芋等を提供し、少しでも季節を感じていただくよう工夫しております。

更に、毎回授産施設の手作り商品の参加もあり、施設職員も興味を持つて買い物に参加しています。

特に女性はいくつになつてもお買い物は大好きなようで、果物やお菓子、お洋服等を品定めする姿はとても生き生きしています。一緒に買い物をする職員もご利用者の意外な一面に驚くことがあります。

終わった途端に「次はいつかね?」という声を聞くと開催してよかつたと思うと同時に、イトヨーカドーの社員の皆様に感謝の気持ちが込み上げてきます。



保育園の少子化問題

特別養護老人ホーム こもれび

施設長 池田 達哉

私たちの現場では今後ますます拡大する高齢化に先行きの不安を感じますが、当法人では併せて保育園を運営しております、そこでは子供の減少が大きな問題となっています。

保育園は当特養と同じ清水の山あい、一五〇件の民家が密集する山間地域にあります。そこから通う園児の定員は全学年で三〇名と小規模ですが、創立五十二年目を迎えた歴史ある保育園です。手前味噌ですが大に囲まれ、少人数制のゆとりある保育環境にあると感じます。実は私もここ卒園児で、当時は同級生が十人程おりましたが、最近は一、三人程、昨年の卒園児はたつた一人と子供が激減してしまいました。原因の一つはいわゆる少子化ですが、もつと深刻なのは過疎化です。若者が結婚を機にこの地域を離れてしまうことが増え、もう何人産むかという以前の問題です。時代と共に山を走り回る子供たちの姿は消え、サッカーや野球で奪い合いあつた近所の

小さな公園も、今は子供の声が聞けなくなつたことに寂しさを感じます。

地元の子供がいなくなつた現在、それでも市街地の保育園で定員漏れの子供の一時利用や、保育園のない周辺地域の子供の利用を増やすことで何とか運営していますが、いずれ長い歴史に終止符を打つときが来るのでしょうか。



◎老施協役員名簿

自 二十年四月一日
至 二十二年三月三十一日

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副会長	副会長	会長	役職名
特養	特養	特養	養護	在宅	在宅	軽費	特養	特養	特養	特養	特養	特養	特養	特養	特養	部会
池田達哉	松本琢也	秋山通	芳賀弘	岩野義郎	佐藤昭南	斎藤文彦	渡邊治平	仲亀秀樹	大塚芳正	川島優幸	若林民子	飯田晴久	三島市立養護	小鹿苑	石川三義	氏名
こもれび	大井川睦園	麻機園	藤枝市立円月荘	静岡老人ホーム	鑑石園デイサービスセンター	デイサービスセントラル	岡宮グリーンヒル	シヤローム富士川	すどの杜	みくらの里	老人ホーム福寿荘	天間荘	老人ホーリュクス	小山町立養護	あしたかホーム	施設名
中部	中部	中部	中部	東部	東部	東部	東部	東部	東部	東部	東部	東部	東部	東部	東部	地区

監事	監事	常務理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	役職名	
特養	特養		在宅	在宅	軽費	特養	特養	特養	特養	特養	特養	特養	在宅	在宅	在宅	部会	
竹本壽明	渡辺陸	古川哲照	北野智照	溝口宣弘	和田正光	岡部忠雄	青野容幸	中津川章	山中康義	小澤優	峰野政博	鈴木昇	海野保	玉田直文	鈴木ごづえ	氏名	
愛華の郷	岩本園	老施協事務局	ビスセンタ	あらいデイサ	通所介護事業所	かけがわ苑	ささぎの郷	ケアハウスか	おおすか苑	豊田ゆうあいの里	グリーンヒルズ東山	奥山老人ホーム	デイサービスセンターカリタス21	デイサービス高草	ラボーレ駿河	レインボーラ瀬名	地区
中部	東部		西部	西部	西部	西部	西部	西部	西部	西部	西部	西部	中部	中部	中部	地区	

活動報告

【老施協】

★ 総会 二十一年三月十九日、県総合社会福祉会館において、役員の選出、第四十四回関東ブロック老人福祉施設研究総会特別会計収支補正予算（案）、平成二十年度一般会計収支補正予算（案）及び平成二十一年度事業計画並びに收支予算（案）について審議しました。

★ 総会 二十一年五月十九日、静岡商工会議所において、役員の補充、二十年度事業報告及び収支決算について審議しました。

★ 総会 二十一年五月十九日、静岡商工会議所において、役員の補充、二十年度事業報告及び収支決算について審議しました。

★ 総会 二十一年三月三日、県総合社会福祉会館において、二十年度収支補正予算、平成二十一年度事業計画及び一般会計収支当初予算（案）並びに平成二十度定例総会の運営について協議しました。

★ 総会 二十一年四月二十一日、県総合社会福祉会館において、役員の補充、二十年度事業報告及び収支決算について協議しました。

★ 総会 二十一年四月二十一日、県総合社会福祉会館において、役員の選出、第四十四回関東ブロック老人福祉施設研究総会特別会計収支補正予算（案）、平成二十年度一般会計収支補正予算（案）及び平成二十一年度事業計画並びに收支予算（案）について審議しました。

【特養部会】

★ 総会 二十一年五月十九日、静岡商

工會議所において、役員の補充、二十年度事業報告及び収支決算について審議しました。

★ 理事会 二十一年四月二十四日、県総合社会福祉会館において、役員の補充、二十年度事業報告、収支決算及び二十一年度事業計画、収支予算（案）並びに二十二年度総会の運営について協議しました。

★ 監事會 二十一年四月二十四日、県総合社会福祉会館において、二十年度事業報告及び収支決算について監査を実施しました。

★ 施設長研修会 二十一年三月三日、県総合社会福祉会館において、静岡県立大学経営情報学部小山秀夫氏を講師に招き、「介護報酬改定の内容と課題」と題する講演会を開催しました。参加者は百八十四名でした。

★ 第三回企画委員会 二十一年一月十四日、県総合社会福祉会館において、第一回静岡県高齢者福祉研究大会について協議しました。

★ 第二回静岡県高齢者福祉研究大会 二十一年三月十三日、静岡商工会議所において、第一回静岡県高齢者福祉研究大会について協議しました。参加十四名の参加がありました。

★ 第二回静岡県高齢者福祉研究大会 二十一年四月八日、県総合社会福祉会館において、二十一年度事業計画、第一回静岡県高齢者福祉研究大会について協議しました。

★ 第二回静岡県高齢者福祉研究大会 二十一年五月十四日、静岡県男女共同参画センターにおいて、二十一年度の事業の実施、第一回静岡県高齢者福祉研究大会について協議しました。

★ 総会 二十一年五月十九日、静岡商工会議所において、二十年度事業報告、収支決算及び役員の補充並びに二十一年度事業計画、収支予算（案）について審議しました。

★ 理事会 二十一年四月二十日、県総合社会福祉会館において、役員の補充、二十年度事業報告、収支決算及び二十一年度事業計画、収支予算（案）並びに二十一年度総会の運営について協議しました。

【21世紀委員会】

★ 二十一年一月二十三日、静岡市民文化会館において、第四回ポスターセッションを開催し関係者を含め二百三十九名が参加しました。

★ 二十一年二月二十日、県総合社会福祉会館において、第一回高齢者福祉研究大会について協議しました。

★ 二十一年二月二十日、県総合社会福祉会館において、第二回静岡市民文化会館において、小委員会別に協議しました。

★ 二十一年五月十四日、県総合社会福祉会館において小委員会別に協議しました。

★ 二十一年四月八日、県総合社会福祉会館において小委員会別に協議しました。

【21世紀委員会】

★ 二十一年五月十四日、県総合社会福祉会館において小委員会別に協議しました。

★ 二十一年五月十四日、県総合社会福祉会館において小委員会別に協議しました。

編集後記

● スポーツ選手の話に「私の競技人生は失敗の繰り返しと常に思っています。失敗を受け入れ、自分の中でどのように消化していくのか、我慢と修正の繰り返しだ。その努力が報われた時、初めて記憶に残る人生になると思う。」この言葉の意味する事は何か、私達も考え、介護という仕事を前向きに考えて、いきたいと思います。（古井）

● 百年に一度と言われる世界的な不況によってもたらされた人材確保をはじめ、介護報酬の見直しによつて、福祉業界全般に明るい兆しが見られるようになつてきました。

しかし、その反面、これからサービスの質の向上を高めるにあたり、人材教育に尽力することが今後の重要な課題の一つではないでしょうか。（三輪）

おわび

他の委員会の報告もありますが、紙面の関係上、次回広報誌に掲載させて頂きます。